

能代市総合計画

基本計画

(抜粋)

目 次

◆ 基本計画（抜粋）

政 策

1 輝きとぬくもりのまち

（１）コミュニティで支え合う特色ある地域づくり	-----	1
（２）学び合い高め合って地域に活かす生涯学習	-----	2
（３）地域で育み社会で支える子育て・子ども支援	-----	3
（４）次代を担う子どもの成長を支える学校教育	-----	4
（５）子どもも大人も心と体の健康づくり	-----	5
（６）地域で活躍する元気な高齢者	-----	6
（７）地域で社会で自立する障害者	-----	7
（８）ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術	-----	8
（９）だれもが気軽に楽しめるスポーツ	-----	9
（１０）認め合い支え合う社会づくり	-----	10

2 元気とうるおいのまち

（１）環境を核とした活力ある産業創出	-----	11
（２）雇用を産み出す企業立地	-----	12
（３）力強く持続する農業	-----	13
（４）山・川を生かす林業・木材産業・水産業	-----	14
（５）まちなにぎわいをつくり出す商業	-----	15
（６）豊かな自然とその恵みを活かす観光	-----	16
（７）自然と共生し地域で支える環境保全	-----	17
（８）資源を大切に社会を持続できる衛生環境	-----	18

3 安全と安心のまち

（１）安全な暮らしを守る防災・防犯体制	-----	19
（２）機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク	-----	20
（３）効果的で調和のとれた土地利活用	-----	21
（４）快適で暮らしやすい住環境	-----	22
（５）安心でき健康を保てる医療体制	-----	23
（６）不安のない生活を支える社会保障制度	-----	24
（７）効率的で住民サービスに資する行財政基盤	-----	25

政 策

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (1)	コミュニティで支え合う特色ある地域づくり
---------	----------------------

基本構想でめざす姿や状態

- ボランティアなどの活動をしやすい環境があり、情報や目標を共有できて交流や連携が進むこと。
- 自治会や町内会などの活動が活発になり、地域の課題解決や、地域資源を活かした身近なまちづくりにつながる。
- 普段から地域で交流や協力、支え合いがあり、地域コミュニティが良好であること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合	37.8% (H19年度)	50.0%	60.0%	市民意識調査
ボランティアセンター登録者数	5,148人 (H19年度)	6,000人	6,500人	

施 策

- ① ボランティアなどの活動がしやすい環境を整える
- ② 地域や団体の情報を共有できる環境を整える
- ③ 地域づくりの活動を活性化
- ④ 地域福祉ネットワークを構築
- ⑤ まちづくり活動の立ち上げを支援
- ⑥ 市独自の特色あるまちづくりを展開

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○ボランティアセンターに登録するなど、積極的にボランティア活動を行う ○自治会・町内会活動に積極的に参加する ○地域の活動として、学校行事や運動会、こども会などに参加する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○ボランティア同士の情報交換や、各種情報をホームページやメールマガジンで発信するなど、ボランティアをコーディネートする機能を強化する(ボランティアセンター、ボランティア団体等) ○地域の行事やイベントを開催し、地域住民の連帯感を高める(自治会・町内会、まちづくり団体等) ○活動が困難な自治会・町内会を再編し、活動できる組織にする(自治会・町内会等)
事業者等 (生産者等含む)	○ボランティアなど地域貢献活動を主体的に展開する ○企業も地域の一員として地域の活動に参加する ○従業員に対してボランティア意識を啓発する
行政機関	○市民の知識・経験を活かせる仕組みをつくる ○自治会・町内会などの地域活動を支援する ○地域の課題を解決するための効果的な事例を紹介する

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (2)	学び合い高め合って地域に活かす生涯学習
---------	---------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 学べる機会があり、学んだ知識や技能、技術が、地域や社会に活かせること。
- 体験学習などを通じて、親子や地域住民の交流が深まり、人づくりや地域づくりにつながる。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合	19.0% (H19年度)	25.0%	30.0%	市民意識調査
自主学習グループ数(公民館登録)	257団体 (H19年度)	285団体	310団体	
自主学習グループ会員数(公民館登録)	4,249人 (H19年度)	4,500人	4,600人	
生涯学習指導者、ボランティア登録者数	27組 (H19年度)	40組	50組	

施 策

- ① 地域の活動につながる学習を展開する
- ② 効率的で効果的な社会教育施設にする
- ③ 青少年の健全な成長を支える

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○各種講座や公民館活動に参加・協力する ○学んだことを実践し、周囲に広める ○読書などを通して自らの見聞を広げる
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の成果を活かした活動を企画・実施する(市民グループ等) ○地域住民主体の各種講座やフリータイムの講座などを実施する(婦人会、老人クラブ、文化団体、スポーツ団体、NPO団体等) ○空き店舗を使ってカルチャー講座などを実施する(NPO団体、文化団体等)
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○各種講座の指導者として参加する ○学習成果の発表に広告掲載などで協賛する ○空き店舗などを生涯学習の場として積極的に提供する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○団体のリーダーを育成する講座や、修了者を講師にした講座の実施や支援をする ○講座の受講手続きの簡素化や、託児付き講座の実施など、参加しやすい環境づくりに努める ○ボランティア団体などと連携する

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (3)	地域で育み社会で支える子育て・子ども支援
---------	----------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 安心して子育てができ、子育てに喜びを感じられること。
- 地域や社会で子どもを守り育てる意識が浸透し、子育てを支え合えること。
- 地域住民と子どもの交流があり、子どもが心身ともに元気で健やかに成長すること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合	25.5% (H19年度)	30.0%	35.0%	市民意識調査
ファミリーサポートセンター会員登録数	12人 (H19年度)	100人	150人	
ファミリーサポート事業利用件数	1件 (H19年度)	50件	75件	

施 策

- ① 子育てを地域で支援する仕組みをつくる
- ② 子育てしやすい環境を整える
- ③ 子どもの居場所づくりを進める
- ④ 子どもを守る体制を整える
- ⑤ ひとり親家庭の自立を支援する

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○子どもと一緒に地域の活動に参加する ○子育て中の人を地域の活動に誘う ○子育ての手助けをする
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○子どもが地域になじめる環境づくりを行う(自治会・町内会等) ○保育所や幼稚園、学校の行事に協力する(自治会・町内会、ボランティア団体等) ○子ども会を育成する(自治会・町内会、学校等)
事業者等 (生産者等含む)	○子育て支援や幼児教育に取り組む(保育所、幼稚園等) ○子育て家族にサービスを上乘せするなど、子育てを応援する ○育児休暇を取れる就労環境をつくる
行政機関	○子育て支援センターやつどいの広場を通じて、育児相談や親子間交流を進める ○子育て家庭を応援する制度を検討する ○子育て・子ども支援を行う団体を育成する

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (4)	次代を担う子どもの成長を支える学校教育
---------	---------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 子どもがより良い環境で学ぶことができ、子どもの個性や能力が伸びること。
- 学校が地域の活動の場として開かれ、地域と連携した教育が進むこと。
- 子ども一人ひとりが命の大切さを学び、人との関わり方、社会との関わり方を身に付けられること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合	47.8% (H19年度)	50.0%	55.0%	市民意識調査
耐用年数を超える学校数	5校 (H19年度)	0校	0校	
耐震基準を満たす学校数	12校 (H19年度)	14校	全校	

施 策

- ① 教育環境を整える
- ② 心豊かな子どもを育む教育を進める
- ③ 基礎学力や基礎体力の向上を図る
- ④ 子どもの心と体の健康を保つ

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の活動や行事に積極的に参加・協力する ○地域の子どもの気配り・目配りをする ○子どもが規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身につけるよう努める
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の文化指導や体験学習を行うなど、世代間交流を進める(自治会・町内会、文化団体、PTA等) ○子どもが地域で活躍できる場を提供する(自治会・町内会、まちづくり団体等) ○ふるさと学習や体験学習を行い、活動事例を紹介する(学校等)
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の活動や行事に協力する ○ふるさと学習や体験学習に協力する ○安全・安心な給食の食材を提供する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○個性や能力を伸ばせるよう、学習指導の工夫や改善を図る ○校舎の耐震化など、教育の場として環境整備を行う ○教育に関する相談がしやすい体制を整える

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (5)	子どもも大人も心と体の健康づくり
---------	------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 普段から健康を意識して生活し、生涯を通して健康でいられること。
- 身近で悩みごとなどの相談ができ、心の健康が保たれること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
からだが健康だと思う市民の割合	62.5% (H19年度)	70.0%	76.0%	市民意識調査
心が健康だと思う市民の割合	61.8% (H19年度)	65.0%	70.0%	市民意識調査
健康づくりサークル会員数	574人 (H19年度)	5%増	10%増	
がん死亡率 (人口10万人対)	407.8 393.3 (H18年)	10%減	20%減	
自殺死亡率 (人口10万人対)	67.4 (H18年)	県平均に近づける	県平均を下回る	

施 策

- ① 心の健康づくりと生活習慣改善の意識を広める
- ② 疾病予防や早期発見の体制を整える
- ③ 母子の健康を保つ

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活改善、禁煙、運動習慣など健康の自己管理に努める ○心の病を身近な問題として考える ○健康教室や健康に関するシンポジウム・キャンペーンに参加する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で健康づくりの意識や正しい知識を広める (自治会・町内会、健康推進員等) ○がんや自殺などに関する調査・研究、心身の病の予防・早期発見に取り組む (医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、大学、研究機関、医療機関、民生委員・児童委員、NPO団体等) ○健康面や経済面などの相談窓口を設ける (ボランティア団体、NPO団体、社会福祉団体等)
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○職場の保健・衛生面に配慮する ○職場における心の健康の維持増進を図る ○従業員の定期的な健康診断を実施する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりに関する定期的な情報提供に努める ○健康教室やシンポジウムなどを開催する ○心の健康に関する各種活動のネットワークづくりなどを支援する

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (6)	地域で活躍する元気な高齢者
---------	---------------

基本構想でめざす姿や状態

- 高齢になっても住み慣れた家庭や地域で、健康でいきいきと自立した生活ができること。
- 高齢者が培った知識と経験を生かして、社会的な役割を持ち、生きがいや地域の活力につながること。
- 地域住民やボランティアなどとの交流やその支援が、高齢者の自立を支えること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
高齢者人口に対する自立高齢者率	84.0% (H19年度)	82.0%	80.0%	
自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民(高齢者)の割合	48.1% (H19年度)	60.0%	70.0%	市民意識調査
シルバー人材センターの登録会員数	391人 (H19年度)	5%増	10%増	
シルバー人材センターの就業延人員	40,029人 (H18年度)	5%増	10%増	

施 策

- ① 高齢者が活躍できる環境を整える
- ② 高齢者の地域生活を支援する
- ③ 介護予防を行う
- ④ 高齢者福祉施設の体制を整える

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○一人暮らし高齢者などと日常的に交流する ○能力や技術を生かした活動を心がける(高齢者自身) ○積極的に地域や社会と関わりを持つ(高齢者自身)
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○高齢者の能力や技術を生かした活動や仕事の場を確保する(老人クラブ、シルバー人材センター、ボランティア団体、ボランティアセンター等) ○地域の高齢者同士が交流できる場をつくる(自治会・町内会、ボランティア団体等) ○一人暮らし高齢者などの日常生活を支援する(自治会・町内会、社会福祉団体等)
事業者等 (生産者等含む)	○高齢者の能力や技術を生かした仕事や活動の場を確保する ○継続雇用に取り組む ○高齢者に配慮したサービスを提供する
行政機関	○高齢者が生きがいを持って活躍できる環境をつくる ○高齢者の活動を支援する団体を育成する ○相談体制や介護予防の拠点である地域包括支援センターを周知する

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (7)	地域で社会で自立する障害者
---------	---------------

基本構想でめざす姿や状態

- 障害があっても住み慣れた家庭や地域で、生きがいを持って自立した生活ができること。
- 障害者が個性や能力を生かして社会参加できること。
- 地域住民やボランティアなどとの交流やその支援が、障害者の自立を支えること。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	0人 (H18年度)	13人	13人以上	
事業所における障害者雇用率	2.31% (H18年度)	2.60%	2.70%	
障害を持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	12.9% (H19年度)	20.0%	28.0%	市民意識調査
手話サークル登録者数(ボランティアセンター)	63人 (H19年度)	70人	80人	
ボランティアセンター登録者数	5,148人 (H19年度)	6,000人	6,500人	
公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率	5.4% (H19年度)	8.0%	11.0%	

施 策

- ① 障害者の自立や就労を支援する
- ② 障害者の地域生活を支援する
- ③ 障害児の療育や教育の環境を整える

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	○ノーマライゼーションの意識を持って実践に努める ○個性や能力を生かした活動に取り組む(障害者自身) ○積極的に地域や社会と関わりを持つ(障害者自身)
各種団体等 (NPO・大学等含む)	○障害の種類に応じた支援に取り組む(ボランティア団体、障害者団体、保健福祉施設等) ○障害者の就労支援の環境づくりに取り組む(ボランティア団体、障害者団体、社会団体等) ○障害を生じさせないための予防や対策に取り組む(医療機関、保健福祉施設等)
事業者等 (生産者等含む)	○障害者の雇用に取り組む ○障害者が就労できる職場づくりに取り組む ○障害者の個性や能力を生かせる環境づくりに取り組む
行政機関	○障害者が就労できる環境づくりに努める ○公共施設のバリアフリー化を進める ○ノーマライゼーションの普及に努める

(基本目標 1 輝きとぬくもりのまち)

政 策 (8)	ふるさとの誇りを受け継ぐ文化・芸術
---------	-------------------

基本構想でめざす姿や状態

- 民俗芸能や民俗行事などを通じて、世代間交流が進み、地域住民の結びつきが深まること。
- 文化・芸術の活発な活動により、人の心が豊かになること。
- 地域の歴史や文化への理解が深まり、地域に愛着や誇りを持つこと。

めざす目標指標

指 標	現 状	5年後の目標 (平成24年度)	10年後の目標 (平成29年度)	備 考
地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	33.7% (H19年度)	42.0%	50.0%	市民意識調査
自主学習グループ数(公民館登録)	257団体 (H19年度)	285団体	310団体	
自主学習グループ会員数(公民館登録)	4,249人 (H19年度)	4,500人	4,600人	
能代市民俗芸能連合会加盟団体数	19団体 (H19年度)	20団体	維持	
文化財保護協会の会員数	121人 (H19年度)	150人	維持	
檜山歴史ガイドの会会員数	42人 (H19年度)	50人	維持	

施 策

- ① 伝統文化の保存・継承活動を支援する
- ② 文化・芸術の振興を支援する
- ③ 歴史の里づくりを支援する
- ④ 文化財や歴史資料の調査・保存を行う

効果を高めるための取組・実現したい取組

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の民俗芸能・行事に参加・支援する ○地域の歴史や文化に関心を持って学習する ○貴重な文化財や歴史資料の調査などに協力する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○関係する団体同士が連携を深め、民俗芸能などの指導者と後継者の育成を図り、活動の場を広げる(民俗芸能・行事継承団体、学校等) ○全市的な歴史資源の保存や活用、PRを進める(歴史関係団体等) ○歴史の里づくりのため、地域の歴史の研究や積極的なPR、史跡周辺の環境整備などを行う(歴史関係団体、まちづくり団体等)
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の里づくりのため、食事の提供や、食事をとれる場所の確保、特産品の販売などを行う ○地域の民俗芸能・行事に協力する ○文化・芸術の発表に広告掲載などで協賛する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の里づくりを支援する ○文化・芸術活動を支援する ○文化財の保存施設を検討する